

SEIYU

CSR 報告書

— 地域社会・地球環境貢献レポート —

2014

e Synergy System の絶え間ない進化で、地域社会と地球環境に貢献する。

一動一進 一休一退

「日々少しづつでも考え、行動を起こすことによって、着実に成長することに繋げられるが、反対に、その歩みを止めてしまうと、成長が止まるのみならず後退することになってしまう。」

成友興業は、“一動一進 一休一退”を社是とし、この理念のもと、業務に取り組んでいます。

私どもは常に時代の変化に対応しながら、成長を続けなければなりません。そして、常に成長を続けるためには、その歩みを止めないためのシステムがなくてはなりません。

私どもは、得意分野である建設事業と環境事業の相乗効果を発揮し、より高い付加価値を生み出し、循環・共生・成長を続ける事業運営システム「e Synergy System」を通じて、地域社会と地球環境へ貢献し続けることが私どもの使命であると考えています。

本報告書は、成友興業の環境への取り組みやお客様をはじめとするステークホルダーの皆様との社会的なかかわり、そして健全な企業活動の礎であるコンプライアンスやコーポレートガバナンスなどの社内体制、その他企業活動について説明しています。ぜひご一読いただき、皆様の率直なご意見をお聞かせいただけますようよろしくお願い申し上げます。

代表取締役
細沼 順人



会社概要 (平成25年10月1日現在)

商 号 成友興業株式会社
設 立 昭和50年3月12日
本 社 東京都あきる野市草花1141-1
資本金 2億7200万円

事業内容

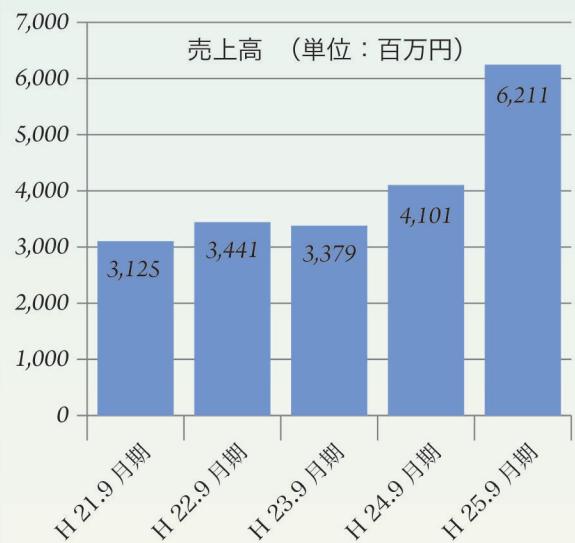
舗装工事業、土木工事業
産業廃棄物処理業
汚染土壤処理業他
従業員 150名(グループ計320名)
グループ会社

成友セキュリティ株式会社
東京都福生市福生699-3

事業所

東京支店 (東京都中央区)
多摩東事業所 (東京都東村山市)
多摩西事業所 (東京都あきる野市)
多摩北事業所 (東京都武蔵野市)
埼玉西事業所 (埼玉県所沢市)
あきる野事業所 (東京都あきる野市)
城南島事業所 (東京都大田区)
福生営業所 (東京都福生市)

財務内容 (直近5期の売上高推移)



Contents

社是・トップメッセージ

1

会社概要

2

マネジメント体制

企業価値の向上のために

3

e Synergy System

環境に配慮した建設事業モデル

5

地球と、ともだちになろう。

環境のために

7

社会と、ともだちになろう。

社会のために

9

地域と、ともだちになろう。

地域のために

11

安全と、ともだちになろう。

安全のために

13

社員と、ともだちになろう。

社員のために

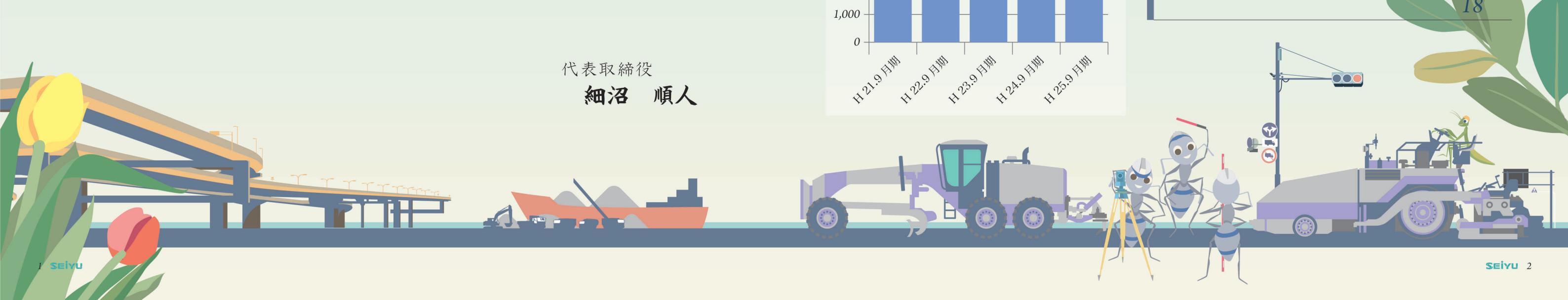
15

トピックス

17

有識者意見・編集後記

18



内部統制組織図

```

graph TD
    SH[株主総会] --> SOH[取締役会]
    SH --> SR[監査役]
    SOH <--> SR
    SOH --> RY[代表取締役]
    SOH --> CSH[中央安全衛生委員会  
リスク管理機能を含む]
    RY <--> CSH
    RY --> SOH
    RY --> SP[事業所長会議]
    CSH --> RY
    SP --> RY
    SP --> SPD[支店・事業所]
    SPD --> SP
    CSH --> SPD
    
```

コーポレートガバナンス

成友興業は、コーポレートガバナンスの強化・充実を経営の重要課題の一つとして位置づけて取り組んでいます。健全な企業経営を行い、持続的な企業価値の向上を図っていくために、実効性のある業務を遂行し、その監督体制を作り上げています。

成友興業は、企業理念を着実に実現する企業として、経営の健全性と透明性を高め、全てのステークホルダーの皆様にご満足いただける魅力的な企業の実現を目指します。

ISOシステム認証

ISO（国際標準化機構）により制定された品質マネジメントシステム規格（平成13年5月認証取得）および環境マネジメントシステム規格（平成21年2月認証取得）に基づき、マネジメントシステムを構築し運用しています。

顧客のニーズと期待に応えるとともに環境保全に努めるよう、継続的な改善活動を会社全体で図りながら、企業価値の向上につなげています。

コンプライアンス

企業活動において法令の順守はもちろんのこと、従業員一人一人が倫理的に正しい判断を行うことが重要です。

公正かつ適切に業務を遂行し、信頼される企業経営を確実にするため、社内研修を行い、従業員のコンプライアンス意識の向上を図っています。

また弊社代表は西多摩地区建設業界暴力団等排除協議会の会長を務めており、成友興業としても反社会的勢力の追放を掲げて業務に取り組んでいます。

企業価値の向上のために

成友興業は、東京都で唯一、土壤汚染対策法に基づく汚染土壤の処理業許可を保有している民間企業です。城南島事業所では、汚染土壤の適正処理を通じて、土壤環境の改善に貢献しています。

今後も環境配慮に対する高い意識を常に持ちつつ業務に励んでいきます。

建設部門の受賞

成友興業では、東京都内の道路工事を中心とした各種工事を受注しており、発注者である東京都から表彰を受けた施工事例も数例あります。施工品質はもちろんのこと、安全に配慮した施工管理体制が評価されたものと自負しています。

東京都で民間唯一の汚染土壤処理業許可取得

土壤汚染が環境問題として認識されて以来、日本のみならず世界中で汚染土壤を適正に処理するために法律・条例等が制定され、規制が強化されています。

成友興業は、東京都で唯一、土壤汚染対策法に基づく汚染土壤の処理業許可を保有している民間企業です。城南島事業所では、汚染土壤の適正処理を通じて、土壤環境の改善に貢献しています。

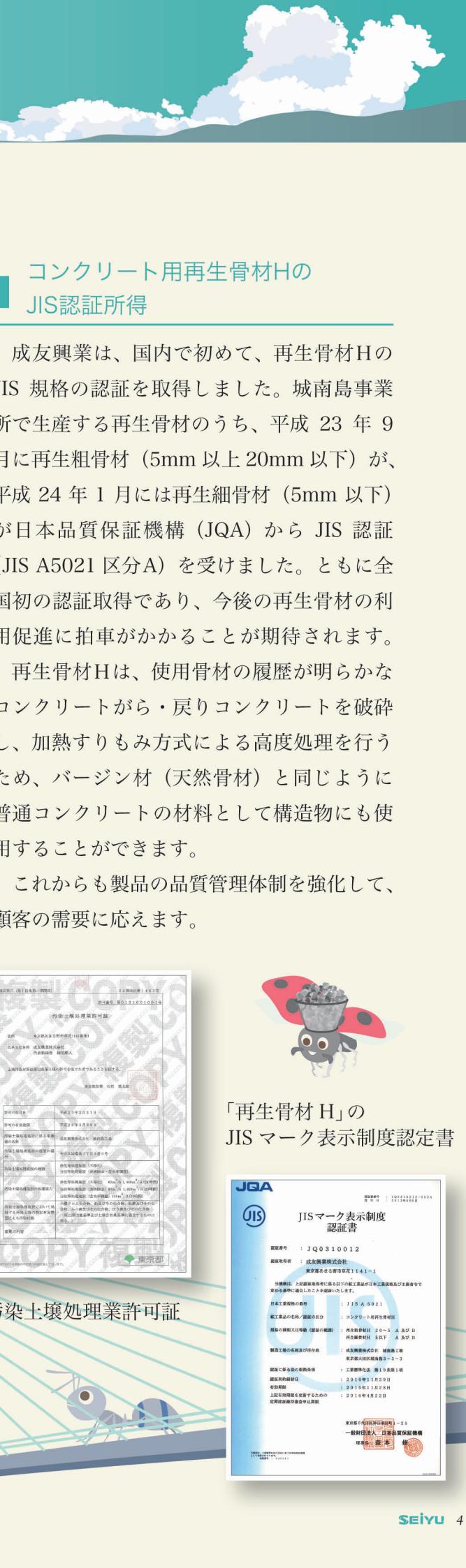
今後も環境配慮に対する高い意識を常に持ちつつ業務に励んでいきます。

コンクリート用再生骨材HのJIS認証所得

成友興業は、国内で初めて、再生骨材HのJIS規格の認証を取得しました。城南島事業所で生産する再生骨材のうち、平成23年9月に再生粗骨材（5mm以上20mm以下）が、平成24年1月には再生細骨材（5mm以下）が日本品質保証機構（JQA）からJIS認証（JIS A5021区分A）を受けました。ともに全国初の認証取得であり、今後の再生骨材の利用促進に拍車がかかることが期待されます。

再生骨材Hは、使用骨材の履歴が明らかなコンクリートがら・戻りコンクリートを破碎し、加熱すりもみ方式による高度処理を行うため、バージン材（天然骨材）と同じように普通コンクリートの材料として構造物にも使用することができます。

これからも製品の品質管理体制を強化して、顧客の需要に応えます。

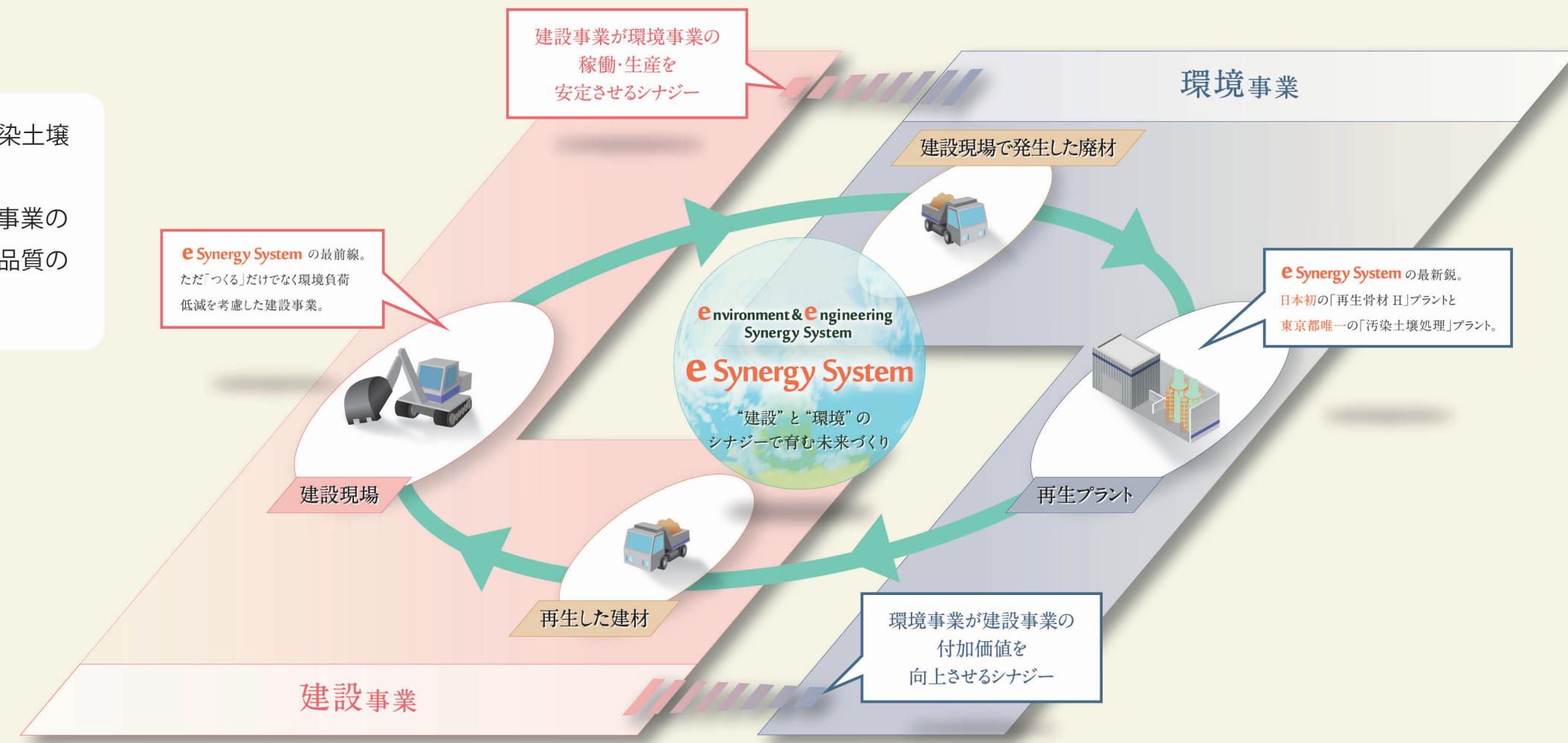




環境に配慮した建設事業モデル

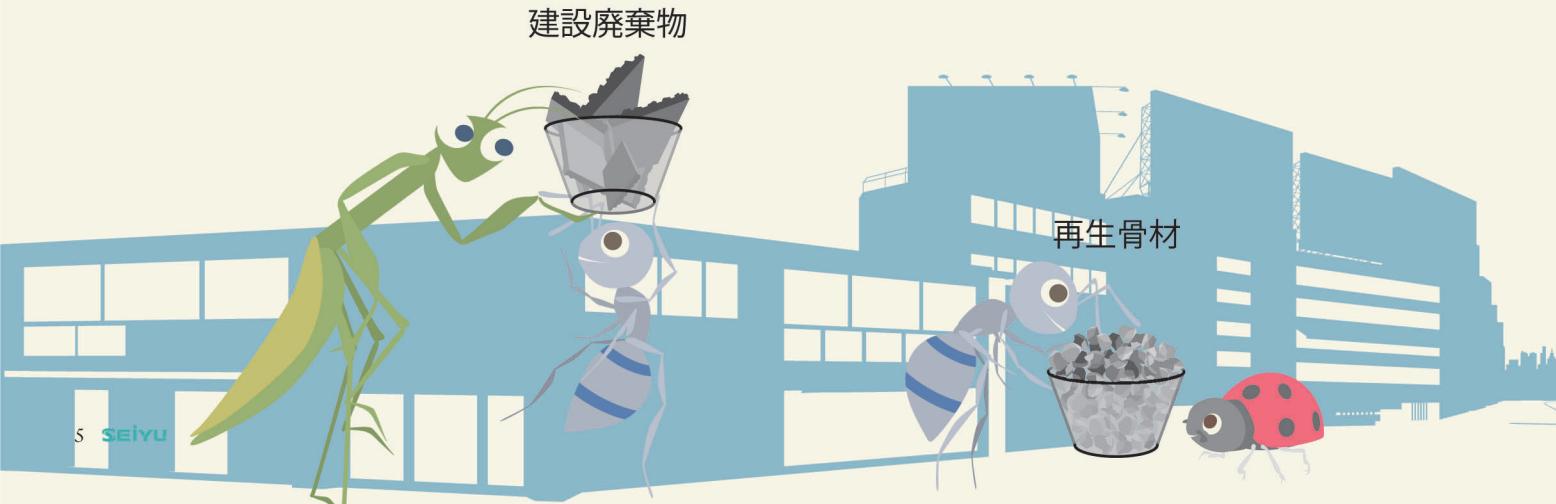
建設現場で発生するコンクリートがら、汚泥、汚染土壌などを自社プラントで再生し、建設現場へと戻す。

この環境に配慮した仕組み e Synergy System を事業の中心に据え、真の道路メーカーを目指し、サービス品質の向上と環境への貢献に継続的に取り組んでいます。



品質環境方針

e Synergy System を絶えず進化させることにより、地域社会と地球環境に貢献する。



安全衛生方針

考えて、行動しよう。





地球と、ともだちになろう。

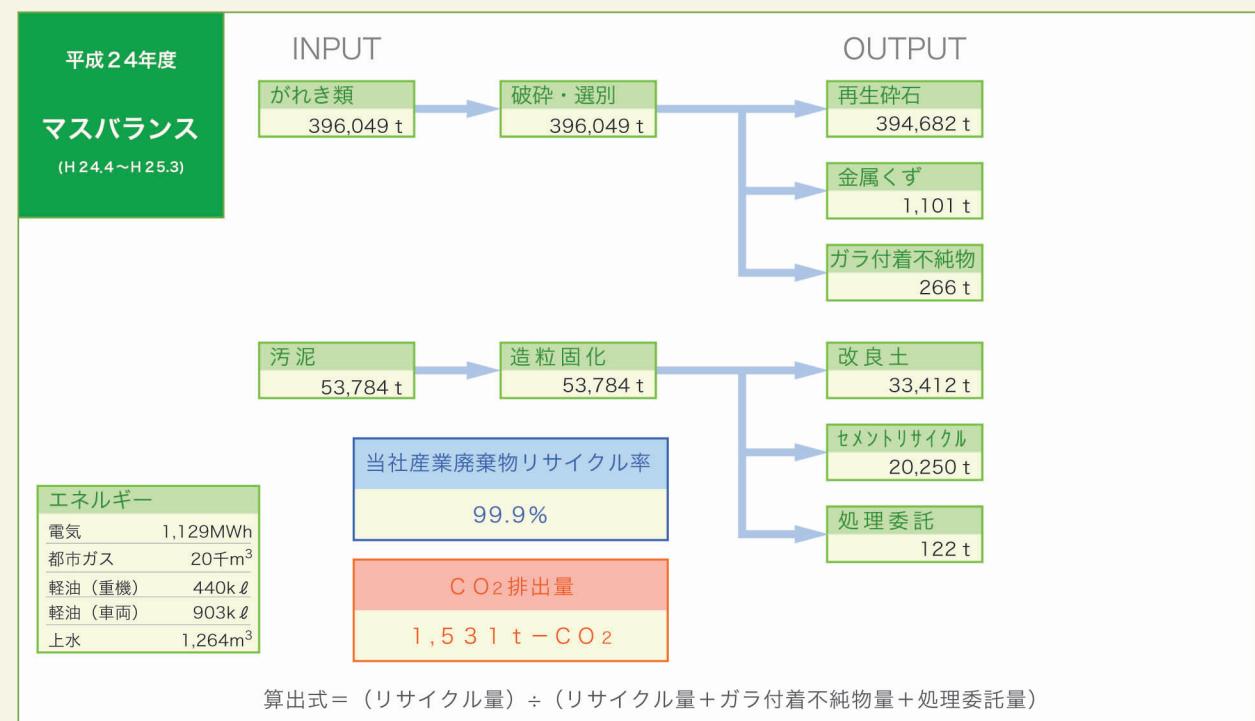


環境のために

マスバランス

マスバランスとは、事業活動に伴う物質取扱いを意味し、それを分析することにより、事業活動の環境負荷や課題を把握できます。

成友興業では汚染土壌や建設廃棄物をリサイクルしています。一方、事業活動に伴う電力や燃料を消費しており、それらの使用量削減に取り組む必要があります。



モーダルシフト

不溶化処理済土壌を再処理施設に長距離運搬する際に、船舶も併用することにより運搬業務に伴って排出されるCO₂の削減に努めています。

ハイブリッド建機の導入

CO₂排出量の削減に少しでも貢献するべく、コマツのハイブリッドショベル HB205をいち早く導入。あきる野・城南島の両事業所にて稼働しています。また、城南島事業所では屋内作業に伴う排ガス対策として電気駆動式油圧ショベルも導入しています。



環境対策

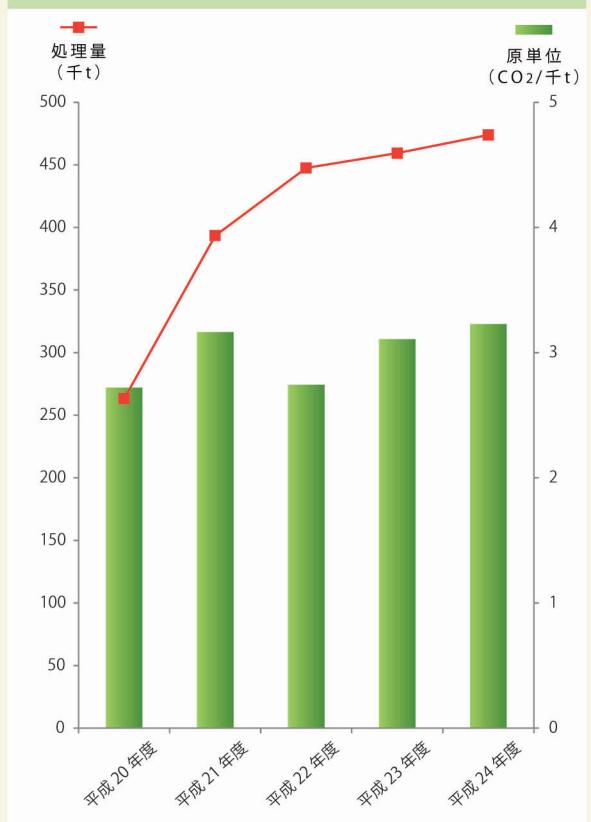
CO₂排出量（原単位）の推移

図は、直近5ヶ年度（4月～3月）における成友興業の事業所におけるCO₂排出量の算出値(t)と同期間のプラント処理量(千t)の推移を折れ線グラフで、処理量千tあたりのCO₂排出量(原単位: CO₂t／処理量千t)を棒グラフで表現したものです。

平成21年度は城南島事業所の稼働開始もあり、試運転などで原単位が上昇したものと推測されます。その後も原単位はいったん減少しながらも再上昇するなど安定していません。

今後の原単位削減に向けて、データを評価分析しつつ活動して参ります。

直近5ヶ年度CO₂排出量（原単位）



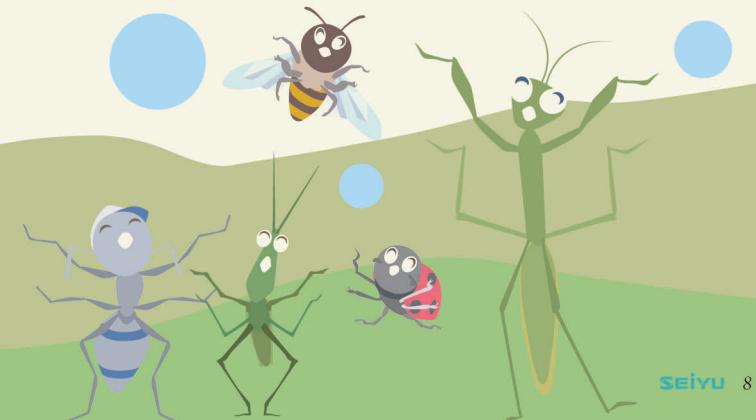
事業所における環境モニタリング

あきる野・城南島の両事業所では、自治体との環境協定に基づく測定項目に、自主的に設定した項目を加えて、定期的な環境モニタリングを実施しています。具体的な測定項目は表のとおりです。

分野	項目	あきる野事業所	城南島事業所
大気	アスベスト測定	年1回	年1回
	ばい煙(ばいじん・窒素酸化物)	—	年2回
	ばい煙(降下ばいじん)	—	年1回
	粉じん(浮遊粉じん)	—	年1回
	粉じん(第二種有害物質) ※セレンを除く	—	3ヶ月に1回
水質	第一種・第二種・第三種有害物質 BOD, COD, SS	—	3ヶ月に1回
	第二種有害物質	—	3ヶ月に1回
騒音・振動	(単位 dB)	月1回	月1回
放射線量	(単位 μSv/h)	月1回	月1回
再生砂・再生砕石	六価クロム溶出試験	月1回	月1回
汚染土壌等	土壤濃度計量試験 【溶出量(26項目) 含有量(9項目)】	—	月1回
	放射能濃度測定 [Bq/kg (wet)]	—	月1回

建設事業における取り組み

建設事業では、舗装工事で発生する廃棄合材の削減に取り組んでいます。廃棄合材をゼロにすることは不可能ですが、緻密な路盤の施工と精密な測量・管理を実施することにより、廃棄合材を限りなくゼロにするべく努めており、成果も少しづつ上がりつつあります。





社会と、ともだちになろう。

社会のために

施設見学受入

城南島事業所では東京都が主催するスーパーイコタウン見学会にて多くのお客様を受け入れるのに加え、国内の官庁、ゼネコン、設備企業、さらには海外からも見学希望が寄せられます。

成友興業ではその希望に可能な限りお応えし、1年間で400名以上の見学者が来所されます。皆様にリサイクル事業への理解を深めていただく一助としていただいております。



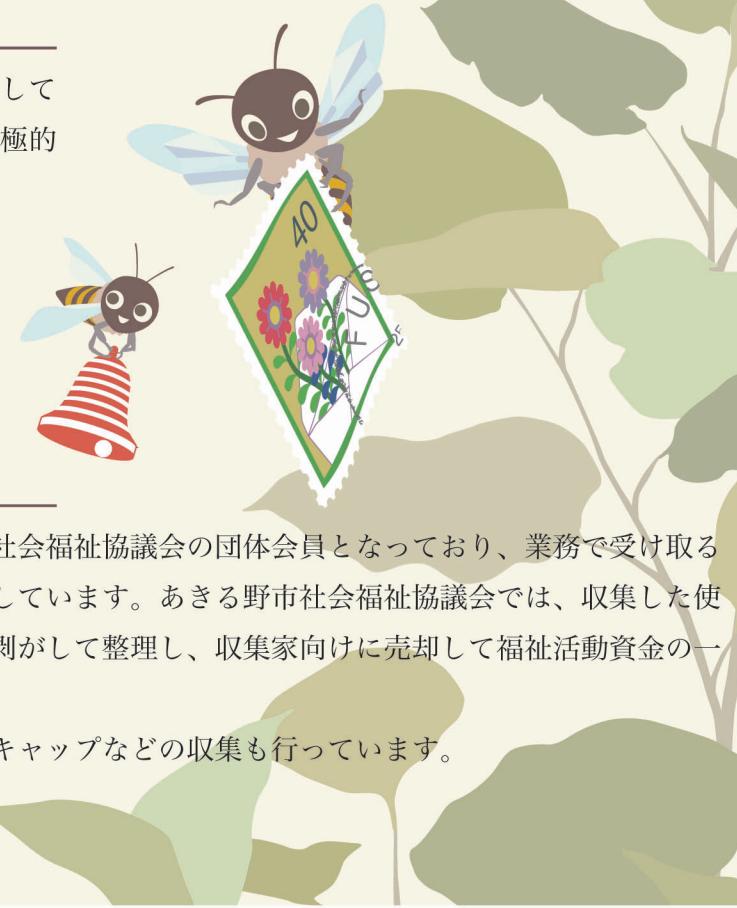
産業廃棄物処理業者情報の公開

公益財団法人産業廃棄物処理事業振興財団が運営する「産廃情報ネット」にて、産業廃棄物処理業者としての成友興業の情報を公開しています。

また、環境省が推進している優良産廃処理業者認定制度にて成友興業が優良産廃業者に認定され、同省が運営する「優良さんぽいナビ」に掲載されています。

学生インターンシップ

近隣の大学や工業高校から職業体験として学生たちを受け入れています。今後も積極的に受け入れたいと考えています。



使用済み切手その他の回収

成友興業は、社会福祉法人あきる野市社会福祉協議会の団体会員となっており、業務で受け取る郵便物に使用された切手を回収して提供しています。あきる野市社会福祉協議会では、収集した使用済み切手をボランティアの手によって剥がして整理し、収集家向けに売却して福祉活動資金の一部としています。

その他、ベルマーク、ペットボトルのキャップなどの収集も行っています。

column 成友興業の年賀状は知的障がい者支援

成友興業から各所に差し出している年賀状は、障がい者の自立を支援している「アート村工房」で作成したものを採用し、ささやかながら社会に貢献しています。

「アート村工房」は「才能に障がいはない」というコンセプトのもとで、障がい者アーティストの作品の図柄を配した商品を販売することにより、障がい者の就労の場を提供する活動をしているプロジェクトです。





地域と、ともだちになろう。

地域のために

清掃活動

近隣の皆様と良好な関係を築く活動の一環として日頃から、本社、事業所、各工事現場の周辺で、状況によってはスーパー車も用いての清掃活動を行っています。

また、城南島事業所では近くの城南島海浜公園にてビーチクリーンアップ活動に参加しています。



地元行事への積極的な参加

JR 五日市線秋川駅前通りで行われる恒例のあきる野夏祭りにおいて神輿に参加し、また西多摩建設業協同組合がお店する模擬店に協力しています。

また、4 日間かけて盛大に行われる福生七夕祭りにも協賛しています。



環境保全協定

あきる野事業所、城南島事業所とも地元自治体（あきる野市及び大田区）と、それぞれ環境保全に関する協定書を交わしています。これらの協定に基づいて日常の公害防止に努めるとともに、定期的な環境モニタリングを実施しています。

防火水槽設置（城南島事業所）

要望を受けて、城南島事業所内に消防水利施設として防火水槽を設置しました。それに対して大森消防署より感謝状の贈呈を受けました。

防災訓練

防災は地域との連携が重要です。地域の防災訓練には積極的に参加しています。



災害対策協定

成友興業では各地方自治体と災害対策協定を締結しています。内容は防災だけではなく、災害発生時の道路啓開や積雪時の除雪作業などへの協力も含まれています。

また、同様の協定を国土交通省関東地方整備局の国道事務所とも取り交わしています。

緑化活動など

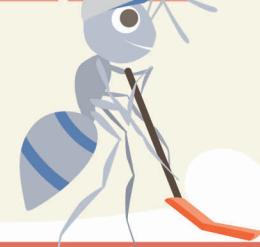
社屋周辺の花壇を整備するなど緑化に努めています。また、夏季には冷房効率を上げることを目的として壁沿いにゴーヤを栽培し、緑のカーテンを作りました。



田舎町アント



田舎町アント





安全と、ともだちになろう。



安全のために

安全への取り組み

成友興業は、全事業を通じて働くすべての社員が「人命尊重」を基本理念として、災害・事故ゼロを目指すとともに社員ひとりひとりがいきいきと健康的に働ける職場の形成に努めています。

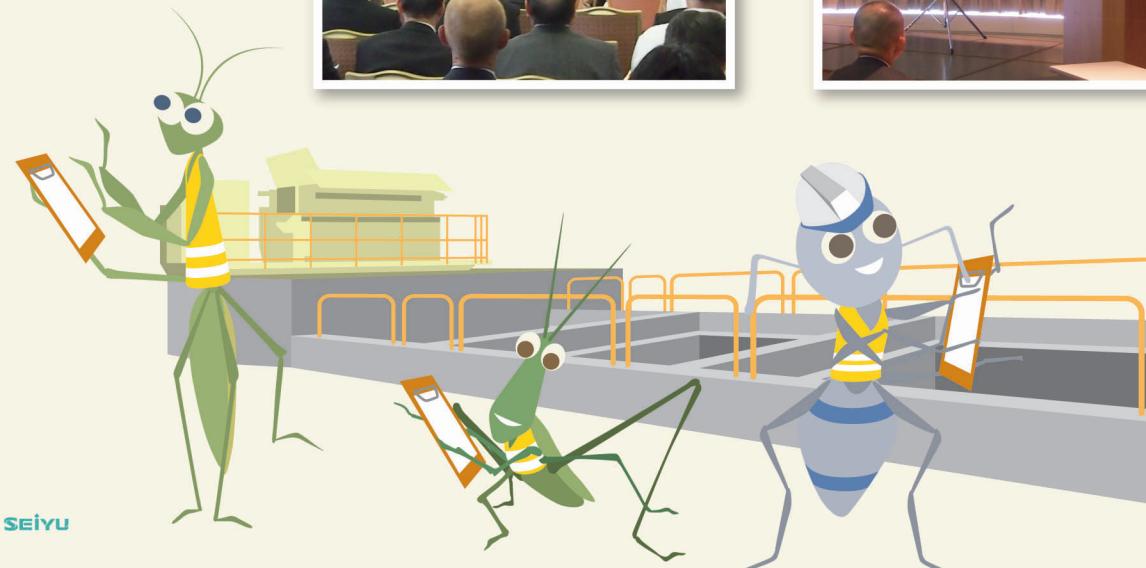
安全パトロール

現場の安全パトロールを成友興業株式会社安全衛生協力会とともに月1～2回実施しています。社長をはじめとする役員によるパトロールも年3回行っており、安全意識を高めるのに役立てています。



安全推進大会など

年に一度の安全推進大会を中心とした安全衛生協議会などのミーティングを各事業所にて定期的に実施しています。直近の安全推進大会は、平成25年6月に、武蔵野スイングホールにて開催されました。社員、協力会社出席のもと、委員長訓話、安全表彰、安全宣言などを行い、有限会社武蔵野あんしんサービス会長による安全講話「労災・賠償事故を防ぐ」を聴講しました。



ドライブレコーダーによる運行管理

安全の向上を図ることを目的として、各ダンプトラックにドライブレコーダーを設置して運転状況の記録を残しています。その記録は、安全担当者が常にチェックするとともに、安全運転の研修材料として活用することで、危険の芽を摘み取るよう活動しています。

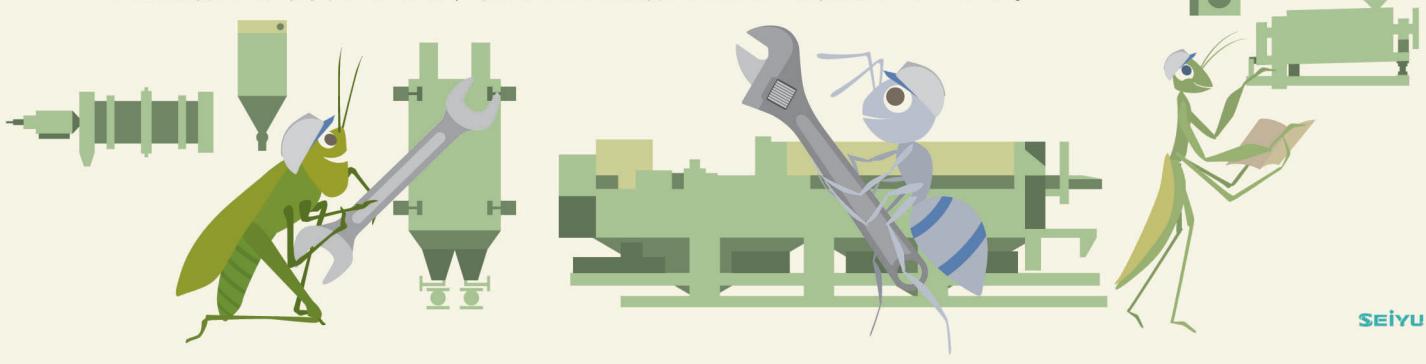


施設や機械の定期点検

事業所のプラント内各施設は、年に一回の専門業者による点検を実施しその結果により必要に応じて修繕を行っています。業務で使用する重機類は、始業前、月次、年次と項目毎に頻度を変えて点検を実施し、安全に作業できるよう管理しています。ダンプトラックは、運転手による日常点検と指定整備工場による3ヶ月点検、毎年の車検を実施し、整備不良事故ゼロを目指して安全運転に努めています。

成友セキュリティ

工事現場周辺の交通整理や、雑踏警備などで豊富な実績を有する成友セキュリティ株式会社がグループ会社としてあります。このことにより、工事現場での警備員との意思疎通がスムーズになり、安全意識がより高まるなど、社内の安全意識の向上にも役立っています。



危険予知活動

労働災害ゼロを目指して、従事者全員で行うリスクアセスメントを含めた KY (危険予知) のみでなく作業前の一人 KY を励行しています。

同様に危険予知能力を必要とする ISO の環境マネジメントシステム規格で定められた「緊急事態への準備及び対応」に応じた、緊急事態避難対応訓練を実施しました。

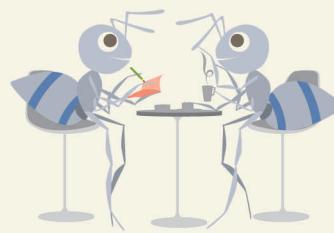
ヒヤリハット報告会

毎月の安全衛生協議会で、日常業務で経験したヒヤリハットの報告を行っています。このような地道な努力の積み重ねで、大きな事故が発生しないうちに、危険要因を皆で周知し、ルールを守ることで災害ゼロに向けて活動しています。



社員と、ともだちになろう。

社員のために



社員研修

建設事業と環境事業という2つの事業軸を持つ成友興業の社員研修は、職種により違いがあります。建設事業では、建設業法等の規制、環境事業で扱う汚染土壌や産業廃棄物は、土壤汚染対策法、廃棄物処理法の規制を受けており、各業務を行うにあたり専門的な知識が必要です。当社では、社員の所属や職位などに応じた教育を行い、社員の知識や技術のレベル向上を継続的に図ることで法令の遵守や事故の防止に努めています。

新入社員教育

入社後、社内(OJT)と社外(Off-JT)合わせて6ヶ月間の研修を行っています。4月に入社する技術系社員(土木施工管理)については社内で4ヶ月、社外で2ヶ月の研修を行っています。内容として、社内では先輩社員によるマンツーマンでの指導、社外では専門の教育訓練機関で、土木基礎の講義と実習を行いました。



社員の知識・技術レベルの向上



資格取得の奨励

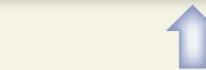
成友興業では業務に必要な資格の取得を奨励しています。資格取得のためには、社内研修を実施し、必要に応じ外部研修も受講出来るようにしています。

環境啓発教育

東京都環境局主催の産業廃棄物適正処理説明会やアスベスト適正処理の講習会等を受講しています。

各種講習会への参加

東京建設業協会をはじめとする各種加入団体や東京都その他が主催する講習会等に積極的に参加できるように努めています。



保有資格



社員の保有資格一覧（平成25年9月30日現在）

資格名	人数	資格名	人数
1・2級土木施工管理技士	28	東京都1種公害防止管理者	3
1級造園施工管理技士	5	技術士（資源工学部門）	1
1・2級舗装施工管理技士	6	環境計量士（濃度）	1
廃棄物中間処理施設技術管理士	5	環境計量士（騒音・振動）	1
破碎・リサイクル施設技術管理士	4	エネルギー管理員講習修了者	1
大気関係第2種公害防止管理者	1	第1種衛生管理者	1
水質関係第2種公害防止管理者	1	運行管理者	3
ダイオキシン類関係公害防止管理者	1		

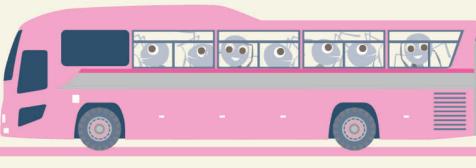
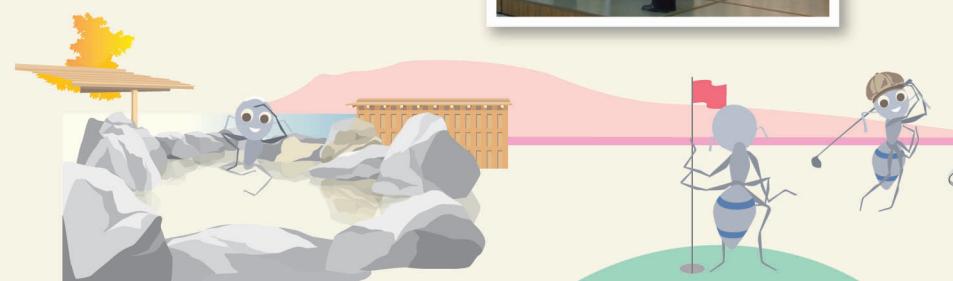
社員旅行・ゴルフ部会

年に1回、全社で社員旅行を実施しています。平成25年7月は、観光やゴルフで千葉県を訪ね、普段目につくことのない海を前にしてよいリフレッシュとなりました。また、毎年3月に行われる創立記念ゴルフコンペを中心として、時折コンペが催され、社員間の親睦が図られています。



社員表彰

永年勤続表彰および業績表彰、安全表彰の各制度を設けています。



トピックス

BCPの策定に取り組みました。

BCPとは、地震などの災害時を想定した「事業継続計画」のことです。先の東日本大震災を受けて策定する企業が増加する傾向にあります。成友興業では平成25年9月より、東京都産業労働局の支援を頂いてBCPの策定に取り組んでいます。災害発生時には、通常業務の継続を勘案しながらも、周辺住民の皆様の利便を図ることができるよう、効果のある計画の策定を目指しています。

産総研との共同研究

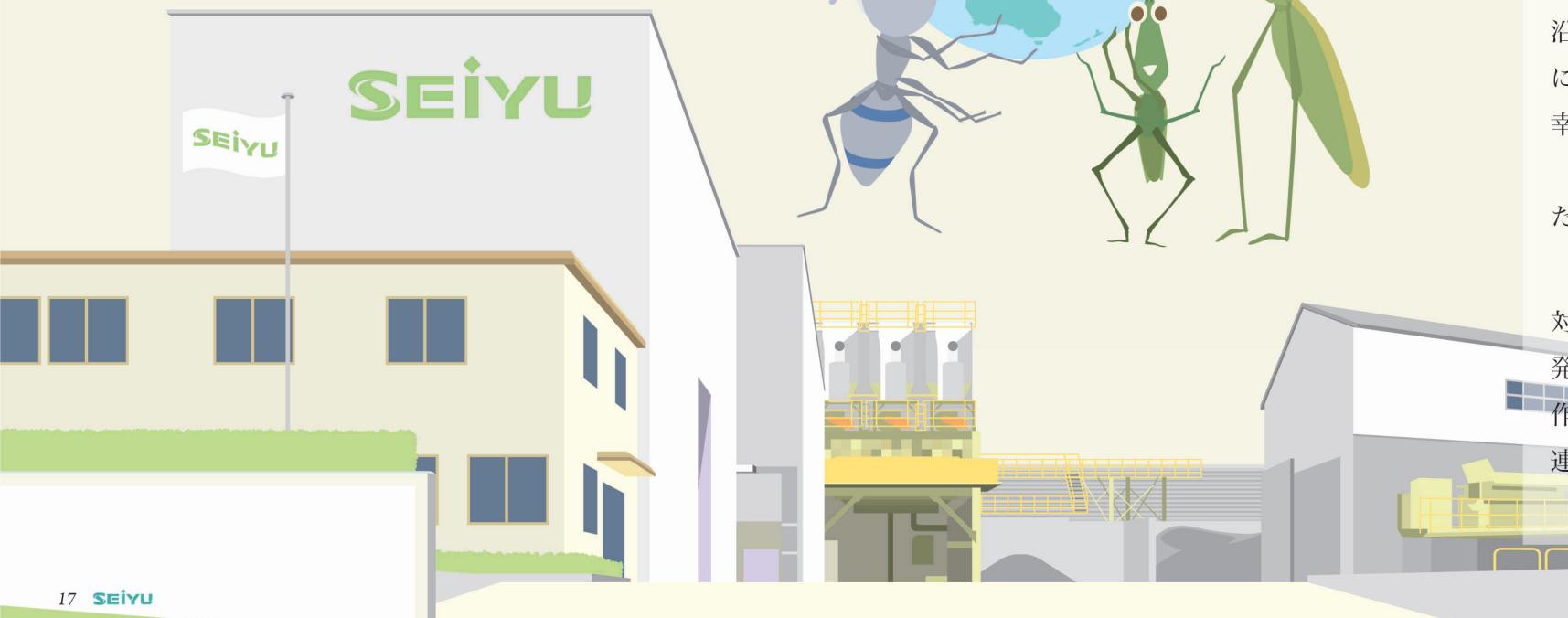
成友興業は、独立行政法人産業技術総合研究所（産総研）その他と共同で「マイクロバブルを利用した汚染土壤類の洗浄技術の確立」と題した研究を行いました。これは、帯電させた微小な気泡であるマイクロバブルを発生させ、その特性を利用して汚染土壤や焼却灰中に含まれる有害物質（塩素など）を除去して洗浄することを目的とした技術であり、次世代のプラント設計に寄与することを目指しています。また、この研究は、国土交通省が実施している「建設企業のための経営戦略アドバイザリー事業におけるステップアップ支援」の対象として平成25年9月付で認められた全国20事業のうちのひとつに選定されました。これは、中小・中堅建設企業の新事業展開などの経営戦略の実現を支援するものです。

国土交通省 HP 報道発表資料 <http://www.mlit.go.jp/common/001011795.pdf>

西多摩アスコン発足

平成25年9月、成友興業は、世紀東急工業株式会社と共同企業体の設立で合意し、「西多摩アスコン」を発足させました。

今後、地域の公共事業をはじめとする社会インフラの構築に向けた建設資材の安定供給を維持するべく操業して参ります。



有識者意見

環境問題や産業廃棄物リサイクルに対する意識が高まる中、平成23年に第9回「多摩ブルー・グリーン賞」に「東京スーパーイコタウン、最新技術で環境問題と向き合う」をテーマに応募され、多摩ブルー賞（技術・製品部門）において見事に優秀賞を受賞されました。

「多摩ブルー・グリーン賞」は、多摩地域の中小企業の活性化と地域経済の振興に寄与することを目的に、優れた「技術・製品」や新しい「ビジネスモデル」を通じて地域経済の発展に貢献した中小企業の方々を表彰する賞です。同賞は多摩信用金庫が主催し、経済産業省関東経済産業局や多摩地域の市町村、各商工会議所、商工会、大学が後援を行い、学識経験者などで構成される選考委員会において厳正かつ公正に選考されています。

現在、成友興業株式会社が実践している「e Synergy System」は、建設と環境のシナジーで育む未来づくりを目指すものであり、環境問題と向き合い、天然資源の保護、最終処分場の延命、汚染土壤の拡散防止、リサイクル率の向上に資する事業であると言えましょう。

これからも、「e Synergy System」の絶え間ない進化で環境・社会・地域・安全・社員のため、地域社会に大きく貢献し続ける価値ある企業としてのご活躍を期待しております。

多摩信用金庫 秋川支店
支店長

平川貴浩 氏



編集後記

成友興業株式会社CSR報告書2014はいかがでしたでしょうか？編集にあたってはできるだけ分りやすく平易な表現を心がけています。「成友興業ってこんな会社だったのか」という新たな発見をしていただけましたでしょうか？成友興業のCSRへの取り組みやその結果に対するステークホルダーの皆様からのご期待に応えられるように、私たちも改善や向上への更なる努力が必要だと常に考えています。このような報告書という形でCSRへの取り組み状況を継続して公表していくことに対する緊張感を持ち続け、皆様のご期待に沿えるよう、これからも真摯に取り組んでいきたいと思います。ぜひとも、巻末に添付しましたアンケートにご回答いただき、本報告書を読まれたご感想やお気づきの点など忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いに存じます。

最後になりましたが有識者意見を寄せていただいた平川支店長に感謝するとともに、今後とも責任を伴った企業活動を継続することに努めていきたいと思います。

対象期間 平成24年10月1日～平成25年9月30日（一部期間外の情報を含む）

発行日 平成26年1月31日

作成部署 CSR報告書2014作成委員会

連絡先 成友興業株式会社管理本部 TEL 042-558-4111 FAX 042-558-4166

E-mail info@seiyukogyo.co.jp



SEIYU

成友興業株式会社 CSR報告書2014 アンケート

成友興業株式会社 CSR報告書2014作成委員会 行

FAX : 042-558-4166



CSR報告書2014をお読みいただきありがとうございます。

皆様からのご意見を今後の報告書の改善に役立てていきたいと思います。

Q1. 本報告書を読まれての感想をお聞かせ下さい。

[報告書の構成]

- | | | | |
|-------------|--------------------------------|-----------------------------|--------------------------------|
| 1) 分りやすさ | <input type="checkbox"/> 分りやすい | <input type="checkbox"/> 普通 | <input type="checkbox"/> 分りにくい |
| 2) ページ数・情報量 | <input type="checkbox"/> 多すぎる | <input type="checkbox"/> 普通 | <input type="checkbox"/> 少なすぎる |

報告書の記事の中で不足していると思われる点がありましたらご記入ください。

()

[取組内容]

- | | | | |
|-----------------------------|--------------------------------|-----------------------------|---------------------------------|
| 3) e Synergy System
について | <input type="checkbox"/> 評価できる | <input type="checkbox"/> 普通 | <input type="checkbox"/> 評価できない |
| 4) 環境のために | <input type="checkbox"/> 評価できる | <input type="checkbox"/> 普通 | <input type="checkbox"/> 評価できない |
| 5) 地域社会のために | <input type="checkbox"/> 評価できる | <input type="checkbox"/> 普通 | <input type="checkbox"/> 評価できない |

特に評価できる(もしくは評価できない)ところはどこでしたか?

()

Q2. 本報告書のことをどちらで知りましたか?

- | | | |
|------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 当社ホームページで | <input type="checkbox"/> インターネット検索で | <input type="checkbox"/> 当社営業マンより |
| <input type="checkbox"/> マスメディア() | | <input type="checkbox"/> その他() |

Q3. ご意見・ご感想などご自由にご記入ください。

ご協力いただきありがとうございました。差し支えなければ下記にもご記入をお願いします。

ご住所

ご氏名

[情報の取扱いについて] 個人情報は、本アンケートに関する連絡のみの利用として社外への公表・展示は致しません。